

2021年
5月

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

●2021年5月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

5月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは下回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は2ヵ月連続で前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

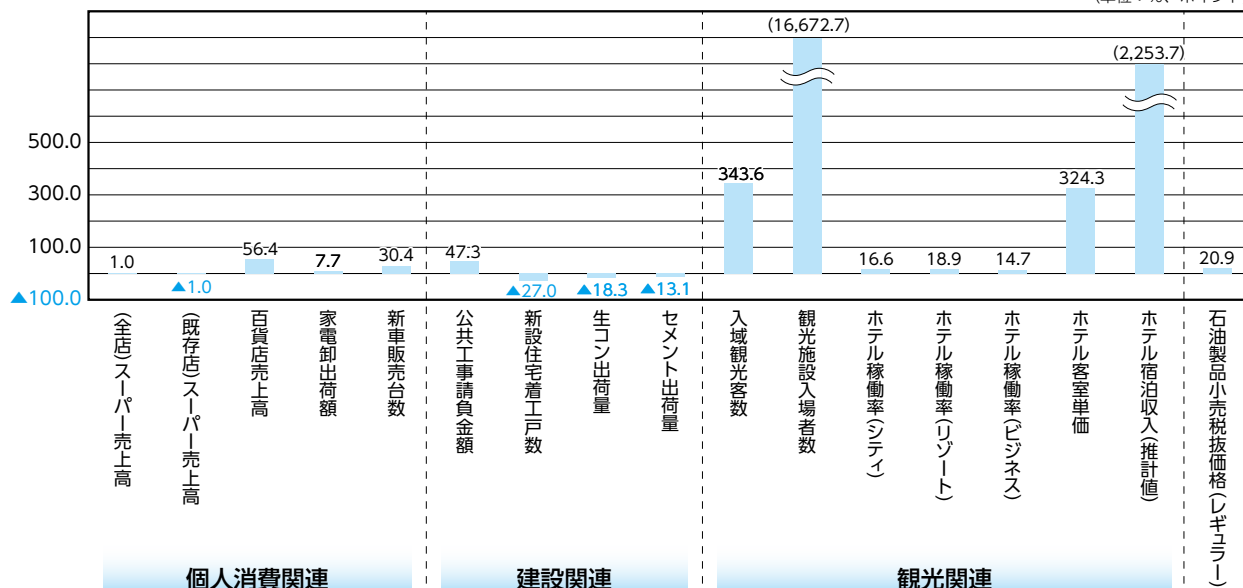
観光関連では、入域観光客数は2ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も先月に引き続き前年の施設の休業体制の反動増により前年同月を2ヵ月連続で上回りました。ホテル稼働率もシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルも同様に前年のホテルの休業体制からの反動増により2ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル客室単価および宿泊収入（推計値）も同様に前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費及び観光関連では、前年の休業体制などの特殊要因による反動増となるものの、個人消費、建設関連では弱さがみられ、観光関連では、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言の発動により依然として厳しい状況にあることなどから、**「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。」**と景気判断を据え置きました。

（2021年2月の下方修正から4ヵ月連続で判断維持）

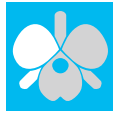
主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



(やや悪い)

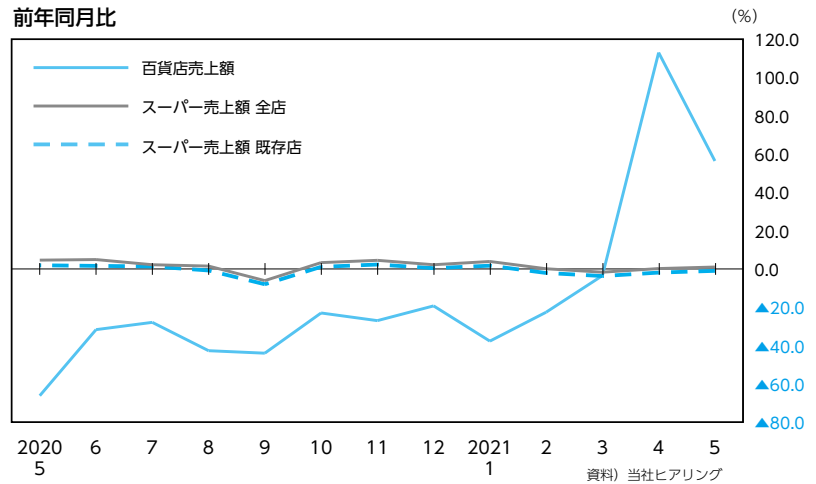
① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは下回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

5月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比1.0%増）」は、新規出店効果などから、「食料品（同0.2%増）」、「衣料品（同4.5%増）」、「家庭用品（同2.8%増）」など全般的に伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース（同1.0%減）」は、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、「衣料品（同7.2%増）」は、前年に緊急事態宣言発出

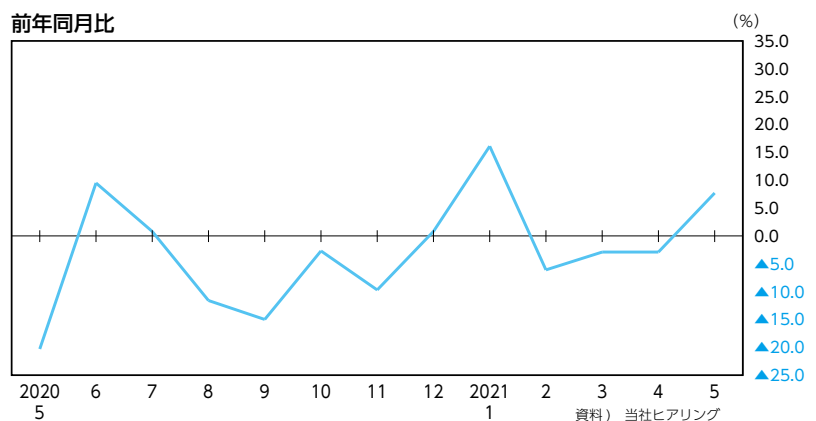
による臨時休業により落ち込んだ反動や、前年に比べ気温が高く推移したことから、夏物商材を中心に伸び、前年同月を上回りました。一方、ウェイトの高い「食料品（同1.6%減）」は、巣ごもり需要が減少し、前年同月を下回りました。家電やドラッグを含む「家庭用品（同1.2%減）」も前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年に緊急事態宣言発出に伴う臨時休業により大きく落ち込んだ反動から、衣料品、食料品など全般的に伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました（同56.4%増）。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品（同51.2%増）」は、「紳士服（同51.7%増）」、「婦人服（同68.0%増）」など、前年の反動から伸び、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。「雑貨（同27.2%増）」は、アクセサリなどが伸び、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。「食料品（同54.8%増）」も、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は4ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

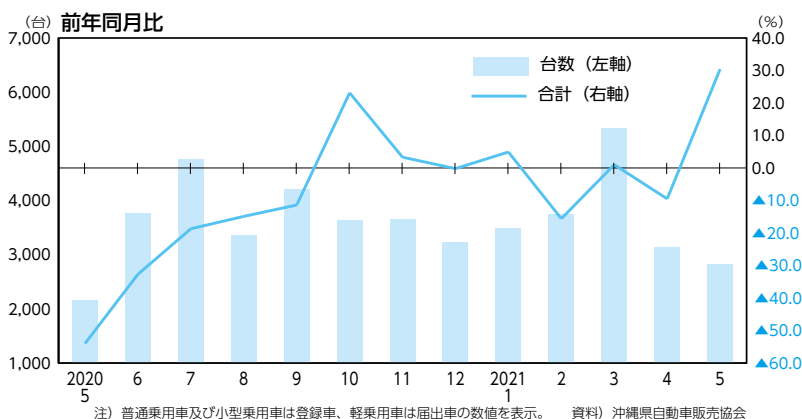
家電卸出荷額は、テレビや洗濯機などを中心に前年の反動増などから、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました（同7.7%増）。品目別では、「テレビ（同67.9%増）」、「VTR（同193.6%増）」は、前年に在庫不足により落ち込んだ反動から、前年同月を上回りました。「冷蔵庫（同0.9%増）」、「洗濯機（同25.0%増）」も、買い替え需要の増加などから、前年同月を上回りました。「エアコン（同3.8%減）」、「レンジ（同25.6%減）」は、前年同月を下回りました。



③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で2,813台(同30.4%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「軽乗用車(同153.6%増)」、「普通乗用車(同22.2%増)」は、自家用車需要が伸び、前年同月を上回りました。一方、「小型乗用車(同54.2%減)」は自家用車需要、レンタカー需要とともに減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



建設関連

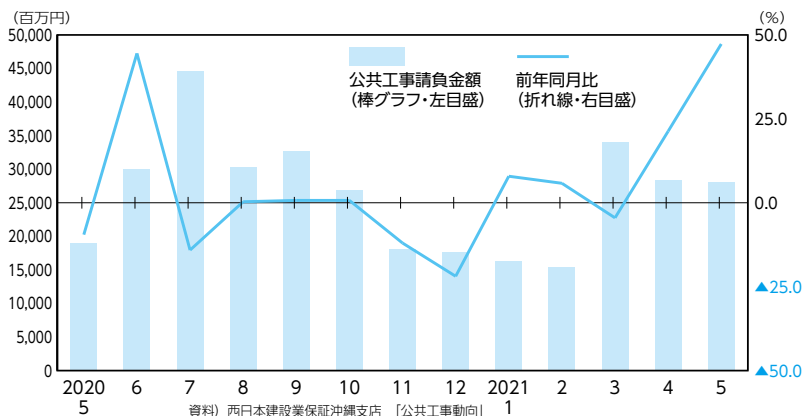


(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

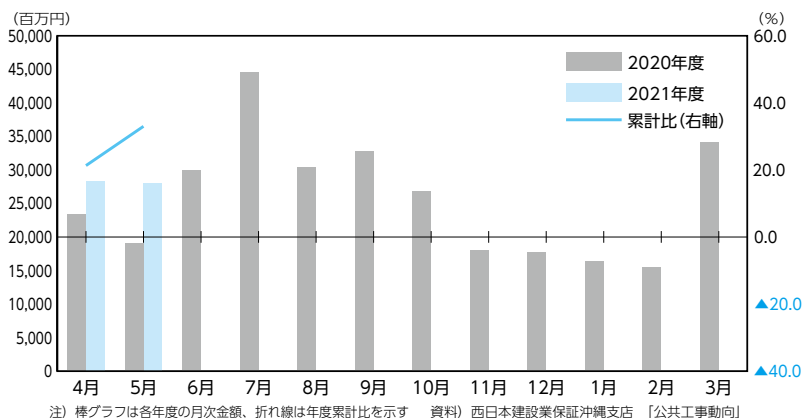
5月の公共工事請負金額は、前年同月比47.3%増の280億5,600万円となりました(2ヵ月連続増)。

発注者別でみると、「国(同95.3%増)」や「市町村(同34.7%増)」、「独立行政法人等(同212.7倍)」、「沖縄県(同10.8%増)」は前年同月を上回りました。一方、「その他の公共的団体(同61.0%減)」は前年同月を下回りました。



【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

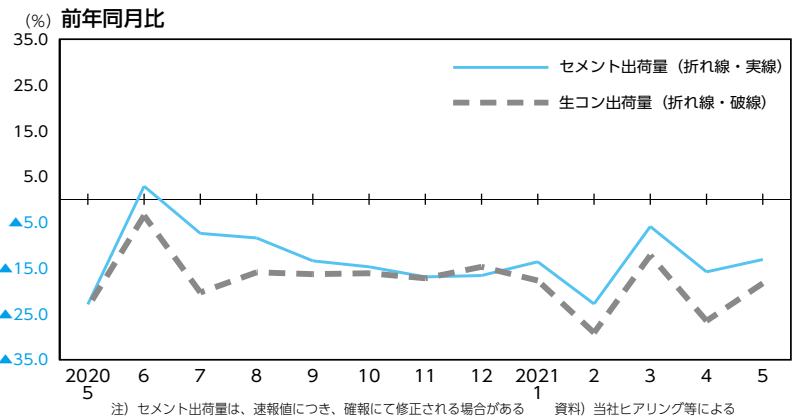
今年度累計値では33.0%増となっております。





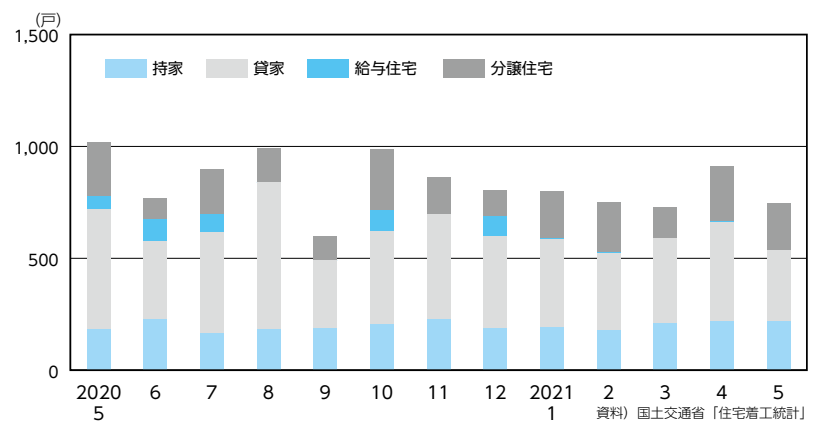
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は18.3%減と16ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より17.7%下回り、民間工事向けは、住宅関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より18.5%下回りました。**セメント**出荷量は13.1%減と11ヵ月連続で前年同月を下回りました。



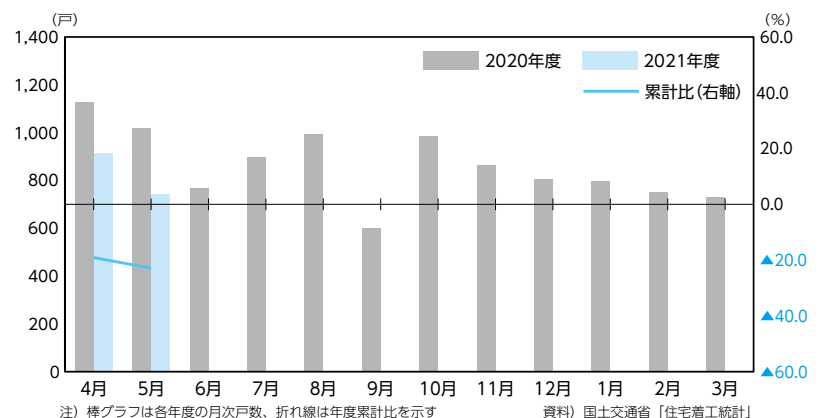
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

5月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比27.0%減の744戸となり、4ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家（同40.6%減）」のほか、「給与住宅（同96.5%減）」や「分譲住宅（同14.8%減）」は前年同月を下回りました。一方、「持家（同17.9%増）」は前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、22.9%減となっています。

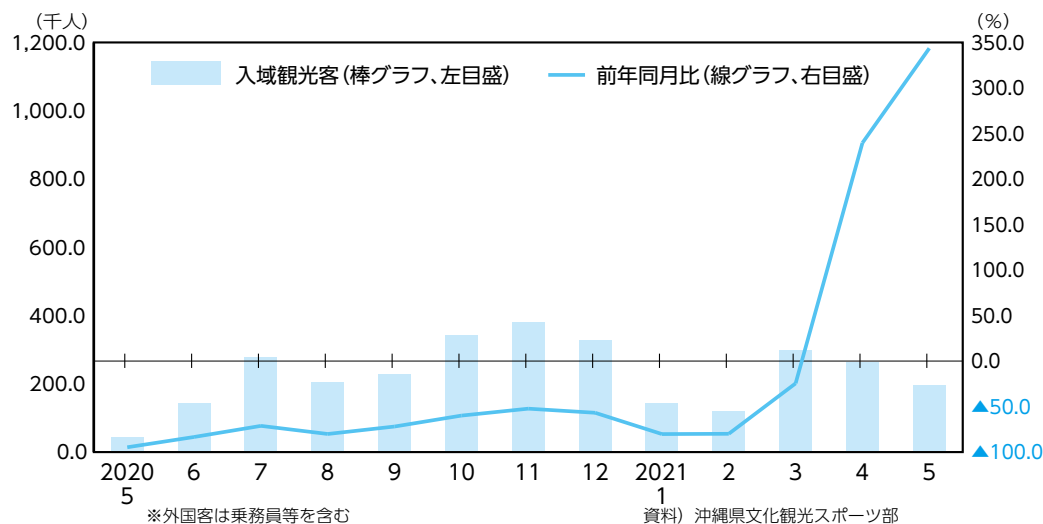


観光関連

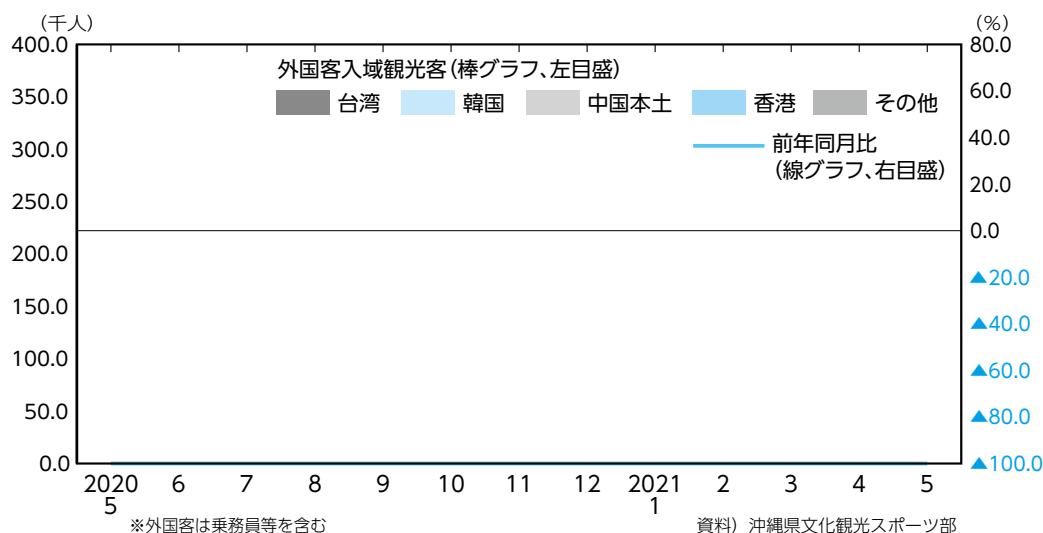


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…2ヶ月連続で前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月同様、皆減。



5月の入域観光客数は、151,200人多い195,200人（前年同月比343.6%増）となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。5月は本土と那覇を結ぶ路線などでの減便規模の縮小、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言による移動自粛の要請が一部地域であった影響などから、前年同月を大きく上回りました。しかし、前々年同月と比べると大きく下回っており、依然として厳しい状況となっています。

他方、「外国客（同100.0%減）」は、前年同月同様、0人となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、引き続き皆減となりました。

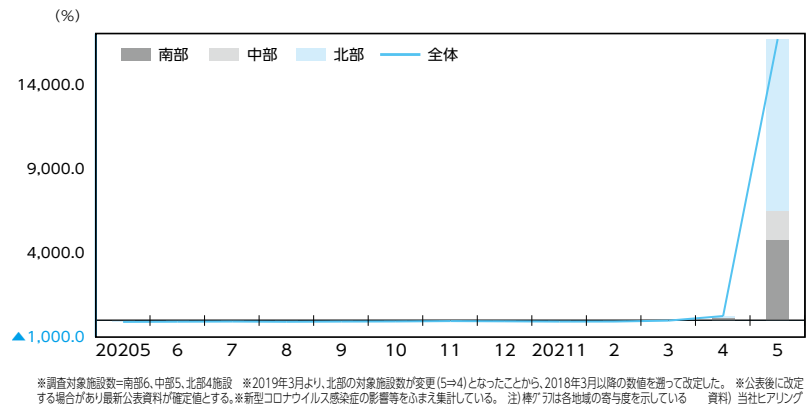
「台湾（同100.0%減）」「韓国（同100.0%減）」「中国本土（同100.0%減）」「香港（同100.0%減）」



② 観光施設入場者数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

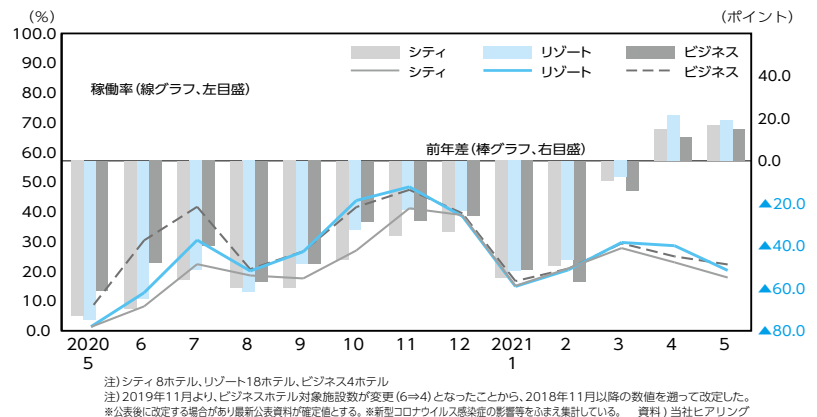
観光施設入場者数は、全体で前年同月より16,672.7%増加(2ヵ月連続)しました。各地域とも前月に引き続きいずれも前年の施設の休業体制等から反動増となりました。地域別にみると、南部にある観光施設は同22,466.4%増、中部は同4,344.8%増とともに2ヵ月連続で前年同月を上回り、北部は同25,429.4%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 前々年(2019年)比では、全体で84.2%の減少となります。内訳では南部にある観光施設が89.3%減少、中部が84.0%減少、北部が79.7%の減少と、依然厳しい状況となっています。



③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで2ヵ月連続で前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、前年の休業体制からの反動増によりシティホテルが17.9%と16.6ポイント増加(2ヵ月連続)、リゾートホテル20.3%と18.9ポイント増加(2ヵ月連続)、ビジネスホテルが22.3%と14.7ポイント増加(2ヵ月連続)しました。

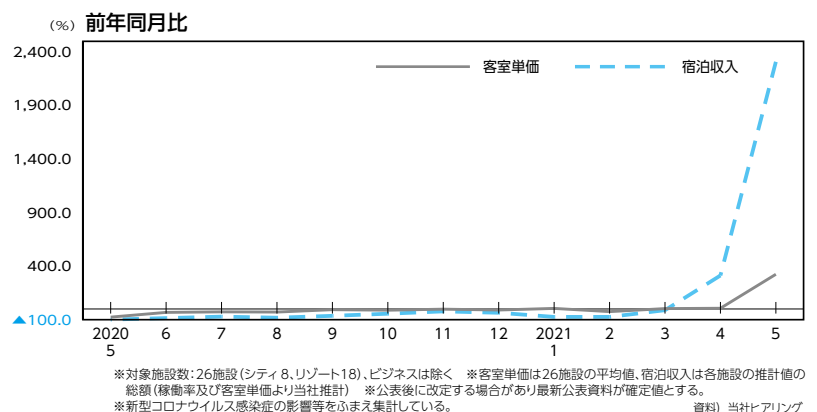


(参考) 前々年(2019年)比では、シティホテルが56.5ポイントの減少、リゾートホテルが56.6ポイントの減少、ビジネスホテルが46.5ポイントの減少と、依然厳しい状況となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比324.3%増と前年同月を上回りました。また**宿泊収入**も前年の休業体制からの反動増を受け、同2,253.7%増と前年同月を上回りました。

(参考) 前々年(2019年)比では、客室単価が1.0%の増加ですが、客室収入は73.0%の減少と、依然厳しい状況となっています。





企業倒産

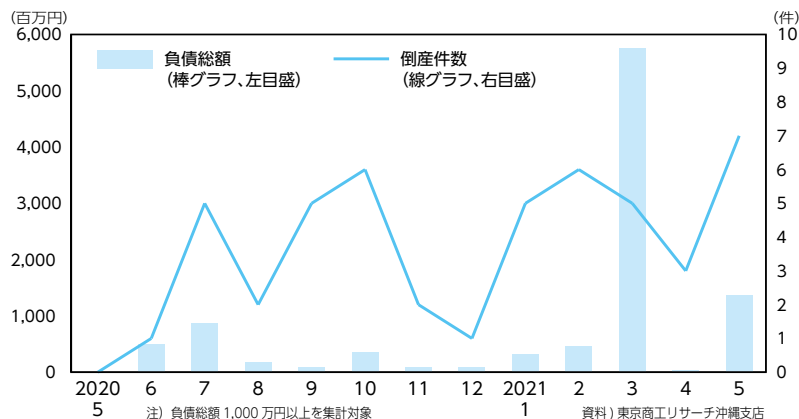


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

5月の企業倒産件数は、7件（うち大口倒産は4件）となり、負債総額は13億5,900万円となりました。

※前年同月は発生なし。



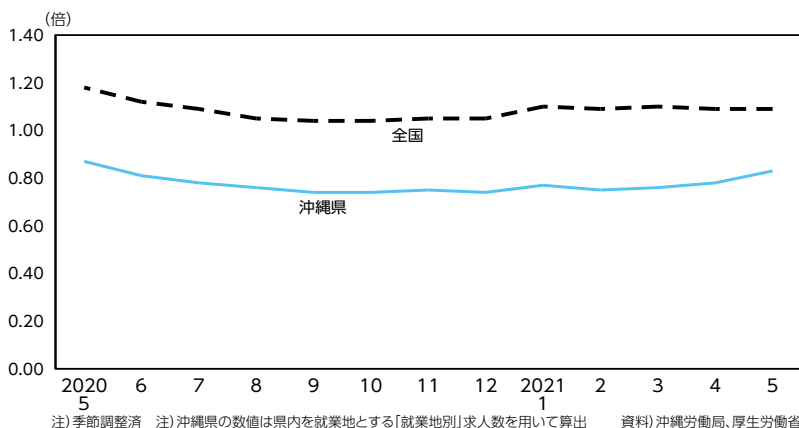
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

5月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比3.4%増の24,406人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比2.4%減の29,491人となり、有効求人倍率（季節調整値）は0.83倍と、前月より0.05ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は上昇。

5月の完全失業率（季節調整値）は、3.4%となり前月より0.5ポイント低下しました。

